

美術博物館の催し



最後の浮世絵師 月岡芳年



江戸時代末から明治時代に活躍した浮世絵師、月岡芳年の展覧会。妖怪や怪奇をテーマとした『新形三十六怪撰』や代表作である『月百姿』などを数多く展示し、魅力あふれる作品の数々を紹介します。

- 期間 7月22日～10月9日
- 料金 要観覧料

月岡芳年『芳年武者無類 主計頭加藤清正』
明治16(1883)年

関連イベント①

学芸員による展示解説

- 日時 9月18日(月・祝)
①午前11時～②午後2時～
- 料金 要観覧料
- 申し込み 直接会場へ

月岡芳年『東京自慢十二ヶ月九月千駄木の菊
根津八幡楼小桜』明治13(1880)年



関連イベント②

ホールコンサート「月の絵、月の音」



月岡芳年「月百姿 五条橋の月」
明治21(1888)年

月をテーマにした楽曲の数々を館内ホールにて演奏。ドビュッシー『月の光』『そして月は荒れた寺に落ちる』ほか

- 日時 10月1日(日)午後2時～3時
- 会場 エントランスホール
- 定員 100人
- 出演 木田陽子(ピアニスト)
- 料金 要観覧料
- 申し込み 直接会場へ

特別展関連展示

「国芳一門の浮世絵師たち」

常設展に加え、特別展に関連した企画展示。

- 期間 7月22日～10月9日
- 会場 歴史資料展示室
- 料金 要観覧料
- 申し込み 直接会場へ



歌国国芳「源氏雲浮世面合 若菜 下」天保14-弘化4年(1843-47)個人蔵

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX 38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般1,000(800)円、大高生700(560)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し



秋の特別展 「モノたちの物語 ～展示資料を楽しむ～」



俵屋宗達「源氏物語屏風切」

展示ケースの中のモノたちには、それぞれに物語があります。書簡、原稿、絵画、書籍など、さまざまな展示資料を主人公に、彼らの言葉に耳を傾け、その物語を紹介し楽しみます。

- 期間&会場 9月16日～12月10日・展示室
- 料金 要観覧料

庭園とロビー展 現代アートからの谷崎礼讃 一岩野勝人・日下部一司

谷崎ゆかりの庭園とそれを眺めるロビーにて、現代アーティストが谷崎の美意識にインスピレーションを得て、自作の展示に挑みます。

- 期間&会場 9月16日～12月10日・庭園とロビー
- 料金 要観覧料



岩野勝人



「Huge Foot」
岩野勝人



日下部一司



「そこにあった」
日下部一司

つながる文学講座 第4回 〈子どもと文学〉 ～樋口一葉「たけくらべ」の世界～



樋口一葉 肖像 (国立国会図書館 web サイトより)

- 日時&会場 10月1日(日)午後2時～3時30分・講義室
- 内容 樋口一葉「たけくらべ」に描かれた子どもたちの姿を読み解くことを通して、この作品に表された変転について考えていきます。
- 定員 30人(要予約)
- 講師 笹尾佳代氏(同志社大学准教授)
- 料金 1,000円(観覧料込)
- 持ち物 筆記用具
- 申し込み 下記へ

一日体験講座 「鳥獣戯画」模写体験

- 日時&会場 9月18日(月・祝)①午前10時～正午②午後2時～4時・講義室
- 内容 日本画家の長谷川透氏が見本をなぞって簡単に模写する伝統的な方法をお伝えします
- 定員 各回16人(要予約/最低開講人数5人)
- 講師 長谷川透氏(日本画家、香里美術クラブ主幹)
- 料金 3,000円(観覧料・材料費込)
- 申し込み 下記へ



鳥獣戯画模写

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX 38-3244 / ✉ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額